

ヘルパーステーションもとよし

【概要】住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、利用者一人ひとりのニーズに応じた個別ケア計画に基づき、関係機関との連携の下できめ細やかなサービス提供に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	5	7	12	14	8	4	12	8	46	58
	回	24	49	73	100	106	91	325	304	926	999
5	人	5	8	13	14	9	4	13	8	48	61
	回	25	56	81	135	129	110	353	337	1,064	1,145
6	人	5	9	14	13	9	5	11	7	45	59
	回	20	61	81	120	118	118	267	311	934	1,015
7	人	7	9	16	11	10	5	11	8	45	61
	回	30	75	105	103	120	102	283	367	975	1,080
8	人	8	8	16	10	8	8	10	8	44	60
	回	34	65	99	97	102	121	268	361	949	1,048
9	人	7	9	16	11	5	8	12	9	45	61
	回	32	73	105	104	80	138	218	358	898	1,003
10	人	7	9	16	12	5	8	9	7	41	57
	回	34	76	110	126	66	125	219	315	851	961
11	人	7	9	16	14	6	5	8	7	40	56
	回	32	73	105	159	90	70	201	304	824	929
12	人	7	10	17	13	6	5	9	6	39	56
	回	35	85	120	137	96	88	247	190	758	878
1	人	6	10	16	14	6	5	9	6	40	56
	回	32	91	123	140	91	83	257	276	847	970
2	人	5	10	15	15	8	5	7	7	42	57
	回	28	79	107	136	107	105	221	285	854	961
3	人	4	10	14	17	10	5	8	8	48	62
	回	21	82	103	182	130	70	299	331	1,012	1,115
計	人	73	108	181	158	90	67	119	89	523	704
	回	347	865	1,212	1,539	1,235	1,221	3,158	3,739	10,892	12,104
前年度	人	65	120	185	123	118	57	138	82	518	703
	回	306	935	1,241	1,369	1,856	882	4,144	3,453	11,704	12,945

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成26年6月28日	発達障害の理解	気仙沼市民健康管理センター
6月30日	介護サービス質の向上に関する研修会（介護記録の書き方）	イズミティ21
7月13日～27年1月	宮城県喀痰吸引等研修事業基本研修	宮城県庁2F
7月15日	普通救命講習1（全職員）	バリアフリー館
7月17日	感染対策講座	気仙沼プラザホテル
7月22日	指定介護サービス事業者集団指導	気仙沼保健福祉事務所
8月29日	高齢者を看取ること	宮城県介護研修センター
9月9日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台アエル
9月19日	気仙沼障害福祉フォーラム	気仙沼プラザホテル
9月24日	認知症の人に対するケアメソッド	気仙沼市立本吉病院
平成27年2月14日	高齢者福祉系、医療系、地域サポーター職員等スキルアップ研修	市民健康管理センター
2月22日	平成26年度地域福祉フォーラムin気仙沼	市民健康管理センター
	事業所内会議：ヘルパー会議、伝達研修（訪問介護合同で毎月開催）	

【成果】利用者数は横ばいでしたが、回数が大幅に減少しました。職員は多様な研修に参加し、さらなる質の向上に努めました。中でも喀痰吸引等基本研修を受講し、利用者の新たな要望に対応できる提供事業所として一步進むことができました。また、ターミナルケア（終末期看取り）に関する研修会に参加し、ヘルパーの果たす役割を常に考え意識しながら介護に当たることができました。

（平成26年度 介護報酬目標達成度 88.3% 前年度93.7%）

【課題】職員の平均年齢の上昇と若手育成に向けた人材確保が課題です。

【今後の取組】先を見据えた事業展開をイメージしながら計画的な体制整備と併せて、選ばれる事業所となるために質の高いサービス提供ができるよう計画的に研修機会を設定し、職員の資質向上を図ります。

【決算】 事業活動収入 39,014,990円 事業活動支出 39,103,551円
 施設整備等による支出 0円
 その他の活動収入 5,674,788円 その他の活動支出 11,498,890円
 当期資金収支差額 -5,912,663円
 （前期末支払資金から充当）

訪問入浴サービスからくわ

【概要】利用者、家族の意向を尊重し、良質で安心できるサービス提供に取り組みました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	1	1	0	2	2	6	5	15	16
	回	0	4	4	0	8	9	23	23	63	67
5	人	0	1	1	0	2	3	6	5	16	17
	回	0	4	4	0	9	12	24	21	66	70
6	人	0	1	1	1	1	3	7	5	17	18
	回	0	4	4	5	4	14	27	19	69	73
7	人	0	1	1	1	1	3	8	6	19	20
	回	0	5	5	4	5	11	33	24	77	82
8	人	0	0	0	1	3	3	9	7	23	23
	回	0	0	0	9	8	12	31	24	84	84
9	人	0	0	0	1	2	3	9	7	22	22
	回	0	0	0	9	5	15	36	29	94	94
10	人	0	0	0	1	2	2	9	7	21	21
	回	0	0	0	9	10	7	35	32	93	93
11	人	0	0	0	1	2	2	9	5	19	19
	回	0	0	0	6	8	8	31	20	73	73
12	人	0	0	0	0	3	4	8	6	21	21
	回	0	0	0	0	16	11	28	23	78	78
1	人	0	0	0	0	3	2	7	8	20	20
	回	0	0	0	0	19	8	23	28	78	78
2	人	0	0	0	0	3	3	5	8	19	19
	回	0	0	0	0	19	9	20	32	80	80
3	人	0	0	0	0	3	4	6	8	21	21
	回	0	0	0	0	21	13	24	32	90	90
計	人	0	4	4	5	27	34	89	77	233	237
	回	0	17	17	42	132	129	335	307	945	962
前年度	人	0	0	0	6	32	21	72	76	207	209
	回	0	0	0	12	110	78	271	294	765	770

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成26年6月14日	レクリエーション活動の講演と実技	気仙沼保健福祉事務所
6月27日	気仙沼圏域地域包括ケアシステム研修会	気仙沼保健福祉事務所
6月30日	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者事業管理者等研修会	イズミティ21
7月17日	感染対策講座	気仙沼プラザホテル
7月18日	高齢者福祉施設におけるヒートショック予防	すこやか
7月22日	介護保険に関する指定介護サービス事業所等集団指導	気仙沼保健福祉事務所
9月9日	平成26年度福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市アエル
9月18日	高齢者の医療講座	県介護研修センター
9月19日	平成26年度宮城県社会福祉施設職員「老人福祉施設職員研修」	宮城県管工事会館
9月25日	高齢者の医療講座	県介護研修センター
9月27日	平成26年度第二回通所事業所等職員研修	すこやか
10月8日	平成26年度コミュニケーション技術対人援助技術研修	宮城県管工事会館
11月11日	平成26年度訪問看護師等難病患者支援研修会	気仙沼保健福祉事務所
12月1日	介護保険事業懇談会	市民健康管理センター
平成27年2月20日	平成26年度結核対策研修会	気仙沼保健所
2月24日	平成26年度認知症ケア向上研修会	気仙沼保健福祉事務所
3月16日	介護保険制度改正介護報酬改定に係る集団指導	気仙沼保健福祉事務所

【成果】各種研修の参加や職員全員による利用者支援会議での検討等により、利用者のケアプランを確認しより良いサービス提供に繋げることができました。また、職員の研修会参加により資質向上が図られました。

【課題】感染症の利用者が増加傾向のため衛生管理を徹底します。職員不足のため個人の負担が大きいため健康管理に注意していきます。職員全体のさらなる資質の向上を図ってまいります。

【今後の取組】他事業所との交流を深め情報交換を行うとともに、職員の資質を高め良質なサービスの提供を心掛けてまいります。

【決算】 事業活動収入12,219,794円

事業活動支出 9,228,553円
 その他の活動支出 2,151,636円
 当期資金収支差額 839,605円

訪問入浴サービスもとよし

【概要】住み慣れた地域で安心して生活できるよう、利用者や家族の意向を尊重し、関係機関と連携して、利用者が満足できるよう適切なサービス提供を行ないました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	0	0	1	2	6	11	13	33	33
	回	0	0	0	3	9	29	50	42	133	133
5	人	0	0	0	2	2	6	10	13	33	33
	回	0	0	0	5	11	26	36	44	122	122
6	人	0	0	0	0	2	6	9	13	30	30
	回	0	0	0	0	11	24	34	47	116	116
7	人	0	0	0	0	2	6	8	15	31	31
	回	0	0	0	0	9	28	37	57	131	131
8	人	0	0	0	0	2	6	8	14	30	30
	回	0	0	0	0	9	24	32	51	116	116
9	人	0	0	0	0	2	6	7	15	30	30
	回	0	0	0	0	11	27	32	65	135	135
10	人	1	1	2	0	2	6	5	14	27	29
	回	3	2	5	0	10	25	17	58	110	115
11	人	1	1	2	0	2	4	6	14	26	28
	回	4	3	7	0	9	16	21	52	98	105
12	人	0	1	1	0	2	4	6	14	26	27
	回	0	5	5	0	12	19	24	57	112	117
1	人	0	1	1	0	2	4	5	13	24	25
	回	0	4	4	0	10	18	15	50	93	97
2	人	0	1	1	0	3	4	5	13	25	26
	回	0	3	3	0	12	17	16	46	91	94
3	人	0	1	1	0	3	4	5	12	24	25
	回	0	5	5	0	18	19	18	48	103	108
計	人	2	6	8	1	26	62	85	163	339	347
	回	7	22	29	1	131	272	332	617	1,360	1,389
前年度	人	0	0	0	1	44	95	131	160	431	431
	回	0	0	0	1	178	411	520	566	1,676	1,676

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成26年6月28日	発達障害の理解	気仙沼市民健康管理センター
6月30日	介護サービス質の向上に関する研修会（介護記録の書き方）	イズミテイ21
7月1日	宮城県喀痰吸引等研修指導者養成講習	宮城県庁2F
7月15日	普通救命講習1（全職員）	バリアフリー館
7月17日	感染対策講座	気仙沼プラザホテル
7月22日	指定介護サービス事業者集団指導	気仙沼保健福祉事務所
8月29日	高齢者を看取ること	宮城県介護研修センター
9月9日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台アエル
平成27年1月24日	在宅医療地域意見交換会	小泉小学校集会ホール
	事業所内会議：ヘルパー会議、伝達研修（訪問介護合同で毎月開催）	

【成果】看護師補充により提供体制の充実が図られ、必要な会議等に参加することができ、在宅医療地域意見交換会では、地域住民や関係者に訪問入浴サービスの紹介ができました。また、居宅・医療機関とシステムを活用した情報共有や連携が今まで以上に図られたことにより、在宅生活を安心して過ごせるようサービス提供に努めることができました。
（平成26年度 介護報酬目標達成度 78.4% 前年度108.8%）

【課題】新規利用もありましたが、入院等や通所利用希望で稼働実績は大幅に減少したことから新規利用増を図る必要があります。

【今後の取組】新規利用増を図るため、職員間で課題と個別ケアの情報の共有を徹底し、利用者のニーズに対応できる質の高いサービス提供に努めます。

【決算】 事業活動収入	17,627,257円	事業活動支出	15,216,176円
その他の活動収入	21,383,247円	その他の活動支出	26,269,277円
		当期資金収支差額	△2,474,949円
			（前期末支払資金から充当）

気仙沼市福寿荘デイサービスセンター

【概要】在宅で介護を必要としている要介護者の方々に対し通所介護サービスを提供し、生活の助長・心身機能の維持向上と介護者の精神的・身体的負担の軽減と利用者本位の適切なサービス提供を行うよう努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	合計
4	人	2	2	4	11	9	5	8	3	36	40
	回	13	16	29	90	72	44	88	21	315	344
5	人	2	2	4	13	10	5	8	3	39	43
	回	14	17	31	121	78	50	89	21	359	390
6	人	2	3	5	11	11	6	8	3	39	44
	回	12	19	31	106	90	52	86	23	357	388
7	人	2	3	5	11	11	6	8	3	39	44
	回	12	26	38	112	97	59	89	25	382	420
8	人	2	3	5	11	12	6	8	3	40	45
	回	14	26	40	108	106	51	95	22	382	422
9	人	2	4	6	11	10	5	7	4	37	43
	回	12	30	42	115	88	52	83	26	364	406
10	人	3	3	6	11	11	4	7	4	37	43
	回	24	22	46	106	104	46	76	22	354	400
11	人	3	3	6	10	10	4	7	5	36	42
	回	21	24	45	91	87	47	71	33	329	374
12	人	3	3	6	9	10	5	7	5	36	42
	回	21	21	42	94	99	46	84	35	358	400
1	人	3	3	6	10	10	4	8	5	37	43
	回	19	22	41	83	93	29	87	27	319	360
2	人	2	3	5	9	8	5	8	5	35	40
	回	16	22	38	78	84	41	84	30	317	355
3	人	2	3	5	10	8	4	6	6	34	39
	回	16	22	38	75	87	43	83	37	325	363
計	人	28	35	63	127	120	59	90	49	445	508
	回	194	267	461	1,179	1,085	560	1,015	322	4,161	4,622
前年度	人	23	34	57	128	138	59	73	49	447	504
	回	148	239	387	1,104	1,146	508	760	326	3,844	4,231

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成26年6月14日	高齢者の余暇活動～いますぐできるレクリエーション	市民健康管理センター
7月18日	高齢者福祉施設職員・医療系職員等スキルアップ研修	市民健康管理センター
7月24日	介護保険サービス事業者等集団指導	県気仙沼保健福祉事務所
9月27日	高齢者の余暇活動～いますぐできるレクリエーション	市民健康管理センター
10月23日	居宅サービス部会通所系研修会(介法協)	ばらんデイサービス
11月11日	平成26年度訪問看護師等難病患者支援者研修会	県気仙沼保健福祉事務所
11月26日	第23回気仙沼地区保健医療研修大会	サンマリンホテル観洋
12月1日	介護保険事業懇談会	市民健康管理センター
12月16日	平成26年度高齢者虐待対策等講演会	県気仙沼保健福祉事務所
平成27年1月29日	第2回管理者会議(介法協)	市民健康管理センター
2月14日	第3回高齢者福祉系、医療系、地域が「タスクアップ」研修会	市民健康管理センター
2月20日	平成26年度結核対策研修会	県気仙沼保健福祉事務所
2月24日	平成26年度認知症ケア向上研修会	県気仙沼保健福祉事務所
3月16日	介護保険サービス事業者等集団指導	県気仙沼保健福祉事務所
3月18日	がん患者のケア等に関する研修会	県気仙沼保健福祉事務所
※社協内管理者等研修を3回、事業所内部職員研修を11回開催		
社協本所及び福寿荘デイサービス		

【成果】新規利用者の伸び悩みがありましたが、既存利用者の回数増等にも柔軟に対応し、受入れも迅速に行った結果、当初目標としていた年間利用率75%を確保することができました。また、突発的な利用にも可能な限り対応し、家族介護者の負担軽減を図るよう職員一丸となり努力し、収入面では良い結果となりました。

(平成26年度 介護報酬目標達成度 107% 前年度91.6%)

【課題】年間を通じて、安定した利用率及び新規利用者の獲得が急務となっています。また、施設が老朽化しており利用者ニーズに合った施設改修が必要と思われます。

【今後の取組】職員一人ひとりが自覚と責任を持ったサービス提供に努め、安心して通所できる施設作りに取り組みます。

今後も各種研修会等への積極的な参加により、職員の意識改革や介護技能の向上、専門知識の習得を図ります。

【決算】事業活動収入	42,331,173円	事業活動支出	44,037,512円
その他の活動収入	9,973,334円	施設整備等支出	624,000円
		その他の活動支出	2,133,352円
		当期資金収支差額	5,509,643円

燦さん館デイサービスセンター

【概要】要介護者・要支援者に対し尊厳ある自立支援と家族の精神的・身体的負担の軽減に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	2	20	22	9	29	13	15	4	70	92
	回	8	149	157	75	295	139	128	40	677	834
5	人	4	19	23	13	27	14	17	4	75	98
	回	15	138	153	106	276	157	146	41	726	879
6	人	4	18	22	15	27	15	15	3	75	97
	回	13	125	138	97	246	154	123	27	647	785
7	人	5	18	23	16	24	18	16	2	76	99
	回	16	134	150	125	222	168	151	25	691	841
8	人	5	18	23	14	23	18	16	2	73	96
	回	17	116	133	96	206	178	148	26	654	787
9	人	7	17	24	16	24	18	17	2	77	101
	回	26	123	149	108	205	172	153	26	664	813
10	人	8	15	23	15	27	15	20	2	79	102
	回	35	111	146	110	228	132	166	26	662	808
11	人	7	16	23	12	30	13	17	2	74	97
	回	27	107	134	86	236	129	142	24	617	751
12	人	8	16	24	11	31	13	17	3	75	99
	回	27	102	129	80	250	121	148	36	635	764
1	人	8	15	23	12	29	12	18	2	73	96
	回	27	92	119	87	234	130	146	19	616	735
2	人	7	18	25	12	29	13	16	2	72	97
	回	30	120	150	89	235	131	137	20	612	762
3	人	4	17	21	16	25	14	15	3	73	94
	回	23	134	157	124	228	154	124	31	661	818
計	人	69	207	276	161	325	176	199	31	892	1168
	回	264	1451	1751	1183	2861	1765	1712	341	7862	9613
前年度	人	28	187	215	177	290	235	151	50	903	1118
	回	146	1340	1486	1400	2685	2331	1227	338	7981	9467

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成26年6月14日	レクリエーション活動の講演と実技	宮城県気仙沼保健福祉事務所
6月27日	気仙沼圏域地域包括ケアシステム研修会	宮城県気仙沼保健福祉事務所
6月30日	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者・事業管理者等研修会	イズミティ21
7月17日	管理者会議	中央公民館
7月17日	感染対策講座	気仙沼プラザホテル
7月18日	高齢者福祉施設におけるヒートショック予防研修会	すこやか
7月22日	介護保険に関する指定介護サービス事業所等集団指導	宮城県気仙沼保健福祉事務所
7月25日	事業管理者会議	本所
9月9日	平成26年度福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台 アエル
9月18日	高齢者の医療講座医療講座	県介護研修センター
9月19日	平成26年度宮城県社会福祉施設職員「老人福祉施設職員研修	宮城県管工事会館
9月25日	高齢者の医療講座	県介護研修センター
9月27日	平成26年度 第2回通所事業所等職員研修	すこやか
10月8日	コミュニケーション技術対人援助技術研修	宮城県管工事会館
10月23日	通所系研修会「介護予防教室の取り組みについて」	ぼらん
11月11日	訪問看護師等難病患者支援者研修会	気仙沼保健所
11月14日	安全運転管理者（副）管理者講習会	気仙沼自動車学校
12月1日	介護保険事業懇談会	市民健康管理センター
平成27年2月14日	高齢者福祉系・医療系職員対象スキルアップ研修	すこやか
2月2日	結核対策研修会	気仙沼市保健所
2月24日	認知症ケア向上研修会	県保健福祉事務所
3月16日	介護保険制度・介護報酬改定に係わる集団指導	県保健福祉事務所

【成果】各種研修への参加後、事業所内の職員会議で各自研修内容の報告をすることにより、職員一人ひとりが業務に対する自覚と責任感を意識するようになり、職員の資質が向上しました。
(平成26年度 介護報酬目標達成度 101% 前年度115.9%)

【課題】職員の人員不足により各個人の身体的、精神的負担が加重となり体調を崩す職員も出てきています。今後早急な職員の確保と職員一人ひとりの健康状態に十分に留意し業務に取り組む必要があります。

【今後の取組】常に利用者、家族の希望や心身の状況を把握し、サービスの提供に努めます。
唐桑地域の特性を掴みながらもう一步踏み込んだサービスを展開していきます。
地域に選ばれる事業所を目指します。

【決算】事業活動収入83,151,033円

事業活動支出 61,095,962円
施設整備等支出 435,240円
その他の活動支出 16,373,708円
当期資金収支差額 5,246,123円

やすらぎデイサービスセンター

【概要】利用者が通所することにより地域の方々との繋がりを持ち、その人らしく生き生きと在宅での生活を送れるような支援を行なうように努めました。また、関係機関との繋がりを重視し信頼関係を築くことで、新規利用者の獲得に繋がるように努力しました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人 8	4	12	22	18	4	4	3	51	63
	回 33	22	55	167	114	40	25	13	359	414
5	人 8	5	13	23	19	4	5	3	54	67
	回 31	31	62	186	124	40	31	13	394	456
6	人 8	4	12	22	19	5	4	2	52	64
	回 36	28	64	168	114	37	22	10	351	415
7	人 8	5	13	23	18	6	4	2	53	66
	回 39	30	69	194	119	53	21	13	400	469
8	人 9	4	13	22	15	5	6	2	50	63
	回 33	29	62	191	75	45	43	14	368	430
9	人 8	5	13	21	16	6	6	1	50	63
	回 38	37	75	173	97	45	43	6	364	439
10	人 7	5	12	20	19	6	5	1	51	63
	回 31	33	64	171	134	45	43	3	396	460
11	人 9	5	14	20	18	6	5	1	50	64
	回 41	31	72	134	111	52	43	5	345	417
12	人 9	6	15	21	16	6	4	1	48	63
	回 44	41	85	153	112	45	32	5	347	432
1	人 9	8	17	21	16	7	5	1	50	67
	回 36	56	92	136	112	37	34	4	323	415
2	人 9	7	16	24	15	10	3	1	53	69
	回 43	47	90	156	104	64	23	5	352	442
3	人 8	7	15	23	16	9	5	0	53	68
	回 46	42	88	153	123	64	33	0	373	461
計	人 100	65	165	262	205	74	56	18	615	780
	回 451	427	878	1,982	1,339	567	393	91	4,372	5,250
前年度	人 120	60	180	225	178	53	45	20	521	701
	回 441	379	820	1,643	1,069	329	382	64	3,487	4,307

【研修・会議参加状況】

月 日	主 な 会 議 ・ 研 修 等	開 催 場 所
平成26年6月14日	高齢者の余暇活動～今すぐ出来るレクリエーション～	気仙沼市健康管理センター
6月27日	地域包括システムについて	気仙沼保健福祉事務所
6月30日	介護記録の書き方 ステップアップ	仙台市・イズミティ21
7月24日	介護保険サービス事業者に対する県の集団指導	気仙沼保健福祉事務所
8月27日	在宅酸素の取り扱いと呼吸リハビリ	気仙沼市立病院
9月9日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市・アエル
9月27日	高齢者の余暇活動～今すぐ出来るレクリエーション～	気仙沼市健康管理センター
11月11日	筋萎縮性側索硬化症患者の支援を考える	気仙沼保健福祉事務所
11月14日	安全運転管理者講習	気仙沼中央自動車学校
11月21日	褥瘡について	内部研修
平成27年3月16日	介護保険サービス事業者に対する県の集団指導	気仙沼保健福祉事務所

【成果】順調に利用登録者・利用回数が増加しました。関係機関・事業所との良好な関係構築が、利用の問い合わせ・見学・新規登録に繋がりました。

(登録人数75人 利用率68.0%/年 平均17.0人)

(平成26年度 介護報酬目標達成度 101.3% 前年度89%)

【課題】介護保険の改正に伴い介護報酬の減収が見込まれるなか、利用率を上げ安定した収益を確保し、利用者に安心できる事業運営が今後の課題となります。

【今後の取組】年間利用率の目標を74% 平均18.5人に設定し、安定した事業経営を目指します。また、利用人数が増えることによって、介護サービスの質を低下させることが無いように、更なる職員の資質・技術の向上を目指し、各種研修に参加し専門的知識の習得に努めていきます。

【決算】事業活動収入	41,841,401円	事業活動支出	35,615,708円
その他の活動収入	1,387,648円	その他の活動支出	5,614,600円
		当期資金収支差額	1,998,744円

大谷デイサービスセンター

【概要】通所介護サービスを提供する中で、利用者の外出を支援し、心身の機能の維持増進及びリフレッシュを図り、地域内外の支援を受けながら他者とのふれあいや喜びあるサービスの提供に努めました。併せて家族の方の負担軽減を図りました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	5	5	10	11	10	5	5	2	33	43
	回	37	30	67	92	70	34	28	7	231	298
5	人	9	5	14	11	11	5	7	2	36	50
	回	51	30	81	97	83	32	51	10	273	354
6	人	9	5	14	8	13	3	6	1	31	45
	回	48	27	75	63	93	26	35	7	224	299
7	人	8	4	12	9	13	3	7	2	34	46
	回	50	29	79	89	95	29	48	11	272	351
8	人	7	6	13	11	11	3	7	2	34	47
	回	38	35	73	103	85	27	41	11	267	340
9	人	7	5	12	14	10	4	5	2	35	47
	回	34	27	61	129	77	39	38	7	290	351
10	人	5	7	12	13	10	3	6	1	33	45
	回	31	36	67	118	81	29	51	6	285	352
11	人	5	8	13	12	10	3	6	1	32	45
	回	26	38	64	92	82	26	42	6	248	312
12	人	6	8	14	12	10	4	5	1	32	46
	回	38	40	78	96	73	29	32	6	236	314
1	人	5	7	12	12	12	4	5	1	34	46
	回	31	30	61	95	81	28	46	4	254	315
2	人	5	7	12	11	9	5	5	1	31	43
	回	23	43	66	82	63	41	46	3	235	301
3	人	5	8	13	11	9	5	5	1	31	44
	回	24	52	76	91	59	35	32	3	220	296
計	人	76	30	75	64	128	47	69	17	396	547
	回	431	417	436	573	942	375	490	81	3,035	3,883
前年度	人	53	57	110	166	103	49	50	19	387	497
	回	276	319	595	1161	717	343	390	117	2,728	3,323

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成26年6月14日	通所事業所等職員研修会；高齢者の余暇活動	市民健康管理センター
6月27日	通所事業所等職員研修会；地域包括ケアシステム	気仙沼保健福祉事務所
7月24日	介護保険サービス事業者等集団研修	気仙沼保健福祉事務所
8月12日	市社協職員内部研修；接遇とクレームについて	大谷デイサービス
9月9日	苦情解決研修会	仙台市アエル
12月16日	高齢者虐待対策講習会	気仙沼保健福祉事務所
平成27年2月16日	市社協職員研修会；接遇とコミュニケーションについて	市民健康管理センター
2月16日	介護保険サービス事業者等集団研修	気仙沼保健福祉事務所
3月16日	介護保険事業者等集団指導	気仙沼保健福祉事務所
	定期で本吉病院医療連携研修会参加。内部研修、職員会議を実施	

【成果】年間を通しサービス体制が変動しましたが、協力し合って利用者の支援に努めました。また、利用者の動きにも変動があり、実績は低い結果となりましたが、経費支出の抑制にも努めました。また、新規利用者を毎月獲得するとともに、体験利用も受け入れ、柔軟なサービス提供に努めました。
(平成26年度 介護報酬目標達成度 86.8% 前年度 60.1%)

【課題】利用者個々人の実態や思いを汲んだ支援が不足していたことは反省事項です。職員がそれぞれの職務を認識し、積極的に学び合い全体のレベルアップを図ることが課題です。

【今後の取組】高齢者の実態変化を見越し、積極的に居宅介護支援事業所等と連携を深めながら、新規利用獲得と安定利用及びサービス向上を図ります。研修受講により介護技術や制度について互いに学び合い、しっかりとした認識の下で職員相互に思いやり高め合って支援を充実させていきます。

【決算】事業活動収入 31,202,894円 事業活動支出 34,083,837円
 その他の活動収入 17,118,723円 その他の活動支出 14,237,780円
 当期資金収支差額 0円

グループホーム・桑の実

【概要】認知症の状態にある高齢者の方々が家庭的な雰囲気の中で、過去に体験していた役割を（食事の支度や掃除・洗濯・趣味活動等）顔馴染みの人たちと一緒にしながら穏やかに安心して暮らせるよう共同生活援助サービスを提供しました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人 回	0 0	0 0	3 90	3 90	2 60	1 29	0 0	9 269	9 269
5	人 回	0 0	0 0	3 93	3 93	2 62	1 31	0 0	9 279	9 279
6	人 回	0 0	0 0	3 93	3 93	2 62	1 30	0 0	9 278	9 270
7	人 回	0 0	0 0	3 90	3 90	2 60	1 30	0 0	9 270	9 278
8	人 回	0 0	0 0	3 93	3 93	2 62	1 31	0 0	9 279	9 279
9	人 回	0 0	0 0	3 90	3 90	2 60	1 30	0 0	9 270	9 270
10	人 回	0 0	0 0	3 93	2 62	3 93	1 29	0 0	9 277	9 277
11	人 回	0 0	0 0	3 90	2 60	3 89	1 30	0 0	9 269	9 269
12	人 回	0 0	0 0	2 60	3 83	2 56	1 31	0 0	8 230	8 230
1	人 回	0 0	0 0	2 62	3 74	3 71	1 31	0 0	9 238	9 238
2	人 回	0 0	0 0	2 56	3 84	2 56	2 56	0 0	9 252	9 252
3	人 回	0 0	0 0	2 62	3 93	2 62	2 62	0 0	9 279	9 279
計	人 回	0 0	0 0	32 972	34 1,005	27 793	14 420	0 0	107 3,190	107 3,190
前年度	人 回	0 0	0 0	15 925	37 1222	41 489	10 408	4 96	107 3,140	107 3,140

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成26年6月17日～24日	宮城県認知症介護実践者研修（実習）6日間（土/日を除く）	宮城県介護研修センター
6月25日	宮城県認知症介護実践者研修（外部研修）	グループホームあさみず
6月27日	気仙沼圏域包括ケアシステム研修会	気仙沼保健福祉事務所
6月30日	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者研修会	仙台市泉区文化創造センター
7月17日	介護サービス法人連絡協議会 管理者会議	気仙沼中央公民館
7月17日	感染管理セミナー講習会	気仙沼プラザホテル
7月18日	高齢者福祉施設におけるヒートショック予防研修会	気仙沼市民健康管理センター
8月28日	宮城県認知症介護実践者研修（まとめ）	宮城県介護研修センター
9月9日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市アエル5F
10月8日	宮城県地域密着型サービス評価推進研修会	仙台合同庁舎
11月9日	介護支援専門員等研修会	気仙沼市役所
12月19、20日	救命法研修会（普通救命法研修1）	気仙沼市保健福祉センター
平成27年1月22日	心に届く接遇&コミュニケーション研修会	気仙沼市民健康管理センター
3月17日	介護保険制度改正・介護報酬改定に係る集団指導	気仙沼保健福祉事務所

【成果】入居者個人の能力に応じた趣味活動や家事を行っていただき、役割と意欲を持った生活ができました。また、季節毎の行事や旬のメニューを取り入れ、四季折々に楽しみを持った生活を送りました。運営推進会議を通し、第三者の方々から、意見を取り入れた活動を行うことで入居の方々が市民と接する機会や活動範囲にも広がりが出ました。今年から、週に1度訪問看護ステーションによる定期的な利用者様の健康管理を行っており、ご家族から安心していただくことができました。

（平成26年度 介護報酬目標達成度95.2% 前年度70.1%）

【課題】入居者の「生活の質」を高めるためには地域との係わりが必須であり、地域の方々等との交流の機会を増やし、認知症高齢者の理解と支援をいただけるよう環境づくりの働きかけが必要です。本年度より入居様の重度化、看取りについて指針を設けたことにより、職員個々人のスキルアップが必要となるため、関連研修についての参加が必要です。

【今後の取組】1. 入居者個人が自分の能力に応じ、主体性を持って生活を送ることが出来るよう支援します。
2. 介護職員のスキルアップのための研修を受け職員の質の向上に努めます。
3. 地域住民の方々やボランティアとの連携の強化を図ります。

【決算】	事業活動収入	35,332,214円	事業活動支出	34,841,745円
	その他の活動収入	2,140,000円	その他の活動支出	912,096円
			当期資金収支差額	1,718,373円

もとよし福祉用具貸与事業所

【概要】福祉用具の有効活用による自立支援と介護者の負担軽減による介護機能の充実強化に努め、安心して在宅生活が継続できるようにサービスを提供しました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4 人	3	7	10	5	23	13	17	15	73	83
5 人	3	7	10	6	23	13	20	18	80	90
6 人	3	7	10	8	24	12	18	18	80	90
7 人	3	7	10	9	24	12	19	19	83	93
8 人	3	8	11	6	22	13	17	17	75	86
9 人	4	7	11	6	21	15	13	18	73	84
10 人	2	9	11	6	20	14	11	16	67	78
11 人	3	10	13	7	20	14	10	15	66	79
12 人	2	10	12	9	20	17	10	15	71	83
1 人	2	11	13	9	19	17	12	13	70	83
2 人	1	13	14	8	17	18	11	14	68	82
3 人	2	12	14	11	17	17	12	14	71	85
計 人	31	108	139	90	250	175	170	192	877	1,016
前年度 人	25	102	127	74	250	132	190	196	842	969

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成26年6月6日	第1回地域リハビリテーション従事者研修会	気仙沼保健福祉事務所
7月31日	平成26年度介護保険事業所集団指導	気仙沼保健福祉事務所
9月9日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会（事業者対象）	仙台市アエル
9月12日	職員内部研修	本吉老人福祉センター
10月9日	介護保険法に基づく実地指導	本吉老人福祉センター
平成27年1月22日	接遇&コミュニケーション研修会	気仙沼市市民健康管理センター
2月24日	平成26年度認知症ケア向上研修会	気仙沼保健福祉事務所
3月13日	平成26年度本吉地域ケアマネジメント情報連絡会	本吉公民館
3月17日	介護保険制度改正・介護報酬改定に係る集団指導 事業所内会議：定例会議及び伝達研修（毎月開催）	気仙沼保健福祉事務所

【成果】多職種連携しながら在宅生活における福祉用具の効果的な活用を検討し、継続的かつ安定的なサービス提供に努めました。また、福祉用具計画の整備をはじめ、お試し期間設定による活用など利用者が安心してサービスを利用できるよう配慮しました。
延利用者は、前年同比で約50名の増加となり、安定したサービス提供が出来ました。
（平成26年度 介護報酬目標額達成度 104.7% 前年度 89.7%）

【課題】福祉用具貸与計画の作成及び実施状況の把握と見直しによる変更計画の作成等により、より良いサービス提供ができるよう質を高めていくことが課題です。また、用具の種類や契約変更により、利用者と収入の増加が必ずしも連動するとは限らないため、常に適正な収支となるよう、提供体制を強化し、更なる利用者増を図る必要があります。

【今後の取組】少人数の提供体制ゆえに必要な最小限で最大の効果が得られるよう職員間の連携と共通認識を図り業務に従事していきます。福祉用具は、在宅生活実現の環境面からも重要な役割を担うことから、関係者に対する福祉用具への理解促進に努め、利用率向上を目指します。

【決算】事業活動収入 12,893,556円 事業活動支出 12,666,355円
その他の活動支出 450,600円
当期資金収支差額 -223,399円
（前期末支払資金残高から充当）

9. 市受託事業

気仙沼地区応急仮設住宅入居者サポートセンター運営事業

【概要】 応急仮設住宅等における中高年の孤立や生活不活発病を防ぐため、生活相談員・看護師等による相談支援や入居者同士・地域住民を交えた交流活動・イベントの企画等を行い、また、関係機関、団体等との連携により仮設住宅退去後も安心して自立した生活を送れるように支援しました。

【実績】

事業内容等	区 分	件数等	前年度	備 考
出張サポート	仮設住宅集会場等	45 カ所	30	他の仮設住宅集会場等での相談会の開催
	公民館等（借用）	4 カ所	13	仮設住宅集会場等以外での相談会の開催
	相談者数	488 人	359	出張サポート時の相談者数
交流支援事業	交流イベント（他団体共催含む）	22 回/カ所	52	お茶会・イベント等
	参加者数（延べ）	419 人	1,125	交流会への参加者人数
連携調整事業		139 回	129	地区別ミーティングやNPO/NGO連絡会等
仮設訪問	住宅団地数（延べ）	2,637 カ所	2,553	訪問した仮設住宅団地数
	戸数（延べ）	12,937 件	17,561	訪問した住宅団地内の戸数
	（内不在、延べ）	5,449 件	8,152	訪問したが不在（状況確認）
公営住宅訪問	住宅団地数（延べ）	9 カ所		訪問した公営住宅団地数
	戸数（延べ）	16 件		訪問した公営住宅団地内の戸数
	（内不在、延べ）	3 件		訪問したが不在（状況確認）
在宅（仮設以外）	戸数	18 件	21	みなし仮設等
	（内不在）	1 件	1	訪問したが不在（状況確認）
相談件数	住宅関係	145 件	175	住宅等の問題
	健康相談	499 件	263	身体的健康の問題
	精神的問題	30 件	40	PTSDなど精神的問題
	介護関係	24 件	61	介護保険等相談
	家庭関係	2 件	10	DVなど問題
	交通等	7 件	9	通院や買い物等の問題
	経済関係	23 件	24	経済的な問題
	交流	23 件	18	孤立や交流等の問題
	その他	92 件	103	上記以外の問題など
	合計	845 件	703	
研修会	内部研修	9 回	6	社協内部研修会実施
	外部研修	21 回	22	外部研修会への参加

【成果】 公営住宅の入居が始まり手続き支援や関係機関へ繋ぐことによって住民も安心して新たな場所へ移ることができました。健康相談会では、関係機関と常に連絡を取りながら実施しており継続参加者だけではなく新たな参加者も増えてきております。

【課題】 自立再建し退去者が増える一方、残った住民での自治会・交流活動が難しくなってきました。また、仮設生活の長期化や将来への不安などからストレス等による体調不良等訴える人も増加していることや生活に困窮している方への対応が課題となっています。

【今後の取組】 交流活動が難しくなっているところについては、地区ミーティング等で関係機関と連携しながら戸別の対応も行い孤立防止を図ります。また、健康不安、生活困窮等に関しましては、関係機関・団体と協議しながら悪化防止に努めます。

【決算】 事業活動収入	27,846,758円	事業活動支出	26,981,715円
		その他の活動支出	865,014円
		当期資金収支差額	29円

社会的包摂「絆」再生事業

【概要】 応急仮設住宅等に入居している被災者及び応急仮設住宅以外の地域における被災者等の孤立化の予防と自立支援に向け、復興支援コーディネーターと生活支援相談員を配置し、個別支援と地域支援を実施しました。

【実績】

事業内容	区 分	件数等	前年度	備 考
交流事業 (仮設・地域)	交流イベント (他団体共催含む)	308 回/ヶ所	313	お茶会・イベント等
訪問状況	戸数(延べ)	21,645 件	32,805	
継続訪問世帯数 (見守り)	仮設住宅	15,064 件	1965	3月31日現在
	在宅・みなし等	6,581 件	1436	3月31日現在
相談件数	住宅関係	18 件	22	住宅等の不具合等
	介護関係	15 件	13	介護に関する相談
	生活環境関係	22 件	20	
	交流・社会参加関係	24 件	24	交流希望・孤立の問題
	交通等関係	0 件	0	交通手段や時刻表
	精神的問題	7 件	2	心の問題
	隣人等関係	11 件	7	隣人トラブルなど
	健康面	23 件	12	体調面の心配
	物資関係	3 件	3	物資の問合せ
	軽微なお手伝い	7 件	12	相談員等スタッフが対応できる軽微な作業
	児童関係	1 件	1	児童サービスの問合せ
	障害関係	5 件	3	障害サービスの問合せ
	経済面	2 件	5	経済的な問題
	傾聴	157 件		不安や葛藤等の相談
	その他	68 件	62	上記以外の問題など
	合計	363 件	186	
連携事業	民協定例会出席	140 回	138	12地区ごと月1回
	地区別支援者ミーティングやNPO/N GO連絡会等	271 回	245	地区別支援者ミーティング毎月開催 NPO/NGO連絡会等毎週開催
各団体との 連携調整	仮設住宅自治会長	890 回	1122	原則全仮設訪問時に情報交換
	地域の自治会長や各種地域団体	1,612 回	随時	随時連携・交流事業(イベント)の共催など
	行政・サポセン・友愛・復興協会・復興 機構・NPO/NGO等との情報交換	随時	随時	
研修会	内部研修	37 回	35	月曜日隔週1回開催、研修
	外部研修	25 回	35	外部研修会への参加

【成果】 応急仮設住宅は支援者間の役割分担により連携の取れた支援体制ができています。状況に合わせた丁寧な定期訪問と必要に応じた専門職や民生委員との同行訪問など、適切な繋ぎと情報共有等を行いました。

みなし仮設や自立再建者の交流会開催時には、地区社協や地元自治会等のキーパーソンの協力により、相互理解と地域からの孤立化予防や支え合える関係構築に努めました。

また、災害公営住宅入居に伴い生活援助員(LAS)との同行訪問や引継ぎを重点的に行いました。なお、災害公営住宅説明会や防災集団移転(市誘導型)説明会に続いて市及び地域団体との連携により交流会を開催し、入居者同士または既存住民の顔合わせ交流会を開催するなど地域福祉の視点でコミュニティづくり推進に努めました。

【課題】 応急仮設住宅においては、残された方々への丁寧な関わりが必要です。

長引く仮設(プレハブ・みなし)での生活により体調を崩す方、運動不足・食に関する不安が見られる方など、健康相談会や生きがい支援の取組みがより重要となります。今後の仮設住宅や災害公営住宅入居後の支援に当たり、公的支援サービスと地域での見守りの体制の両輪からなる取組み展開を進めるに当たり、地域福祉団体や既存自治会等の一層の理解・協力体制の構築が不可欠です。

【今後の取組】 個別訪問では、課題を共に考える姿勢を大切にし、一層丁寧な関わりを行います。また、個別支援と地域支援が連動するよう交流会等を通し、地域での解決への取り組みを意識的に働きかけます。

次年度は災害公営住宅入居や防災集団移転が本格化することから、生活援助員(LSA)へのスムーズな移行と関係機関との情報共有を一層密にし、行政や各団体等と一体となった交流会開催や受入地域との意見交換など、地域福祉の視点により支え合う地域づくりを目指します。

【決算】 事業活動収入 105,402,216円

事業活動支出 102,500,642円

その他の活動支出 3,371,388円

当期資金収支差額 -469,814円

(前期末支払資金残高から充当)

気仙沼市北部地域包括支援センター

【概要】唐桑地域及び鹿折地区の高齢者の介護や病気、認知症、虐待に関する相談に関して、訪問、面接及び電話で対応し、関係機関と連携し解決に向けた支援を行いました。また、唐桑地域の地域包括ケアシステム構築の基盤づくりを行いました。

【実績】

月	対応実数	対応延べ数内訳										
		対応方法			対応理由区分							
		訪問	面接	電話	認知	虐待	身寄りなし	ケアマネ支援	その他	二次予防	予防支援	契約のみ
4	51	47	20	48	24	24	0	2	52	0	7	6
5	53	31	38	73	17	31	0	17	65	0	8	4
6	45	39	29	49	17	20	0	8	57	0	5	10
7	57	32	51	84	40	23	0	2	94	0	2	6
8	58	33	20	84	2	18	0	18	92	0	3	4
9	58	57	15	27	14	14	0	11	41	5	9	5
10	51	33	30	73	16	27	0	4	76	0	9	4
11	51	39	20	50	6	0	0	1	84	0	10	8
12	50	41	15	57	16	13	0	4	49	0	23	8
1	56	37	25	66	25	20	0	1	60	0	14	8
2	54	58	16	80	32	10	0	3	93	0	9	7
3	60	41	26	70	19	23	0	7	75	0	9	4
合計	644	488	305	761	228	223	0	78	838	5	108	74
前年度	556	492	117	282	40	81	43	60	431	0	125	72

【研修・会議等参加状況】

月 日	主 な 会 議 ・ 研 修 会 等	開 催 場 所
平成26年6月13日	平成26年度ケアマネジャー協会記念フォーラム	すこやか
6月14日	平成26年度通所事業所等職員研修	すこやか
6月26日	地域包括支援センター職員意見交換会	宮城県庁
6月27日	気仙沼圏域地域包括ケアシステム研修会	気仙沼保健福祉事務所
7月 3日	平成26年度宮城県被災者支援従事者研修 事例研究会	気仙沼保健福祉事務所
7月15日	第4回気仙沼市地域包括支援センター運営協議会	気仙沼市役所
7月30日	平成26年度集団指導（居宅介護支援）	気仙沼保健福祉事務所
8月 8日	福祉のまち創造会議「地域包括ケアを考える」	三峰病院
8月18日	平成26年度ケアマネジャーのための介護保険制度基礎研修	気仙沼保健福祉事務所
9月 5日	仙台地方検察庁再犯防止会議	気仙沼保健福祉事務所
10月～11月の11日間	主任介護支援専門員研修	宮城県庁
10月10日	地域包括ケアシステム構築研修会	宮城県庁
11月 9日	26年度介護支援専門員研修会	気仙沼市役所
11月26日	気仙沼地区保健医療研修大会	サンマリン気仙沼
12月 6日	在宅療養推進フォーラム	ゲストハウスアーバン
12月13日	気仙沼市地域包括ケア推進協議会	気仙沼市役所
12月16日	高齢者虐待対策講演会	気仙沼保健福祉事務所
1月13日	地域包括ケアシステム構築研修会	宮城県庁
3月17日	介護保険制度改正・介護報酬改定に関わる集団指導	気仙沼保健福祉事務所
3月26日	市立病院地域医療連携交流会	パルポーエトワール
毎月1回開催	包括会議（気仙沼・北部・南部包括の代表者の会議）	気仙沼市役所

【成果】 今まで築き上げてきた関係機関との繋がりを生かし、「地域包括ケア システム構築」の取り組みとして、北部地域包括支援センターが中心となって「唐桑地域多職種連絡会」を立ち上げ、医療、介護、行政が一堂に会しての連絡会を開催しました。

【課題】 26年度は、気仙沼市との協働で唐桑地域を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催する予定でしたが、関係機関の協力が得られず、開催できなかったことから、今後その必要性を含め、再度検討し開催に努力する必要があります。

【今後の取組】 「唐桑地域多職種連絡会」、「ケアマネジャー連絡会」を定着させ、顔の見える連携の構築を行います。鹿折地区の地域包括ケア体制構築の取組として「住民主体の高齢者を対象とした交流事業」が定着できるように支援します。また、「地域ケア会議」を継続して開催し、個別ケースの検討、地域の課題の検討を行っていきます。

【決算】 事業活動収入25,233,738円

事業活動支出 24,010,470円

その他の活動支出 916,212円

当期資金収支差額 307,056円

気仙沼市南部地域包括支援センター

【概要】 本吉地域の地域組織、関係機関との連携を強化し、高齢者の多様なニーズや相談に総合的かつ迅速に取り組みました。医療機関やサービス提供事業所などとの連携強化によるネットワーク構築に努めるとともに、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整しながら地域での包括ケアに関する理解促進や意識啓発に努めました。

【実績】

月	実数	対応方法			対応理由区分							
		訪問	面接	電話	認知	虐待	身寄りなし	ケアマネ支援	その他	二次予防	予防支援	契約のみ
4	70	65	16	76	53	7	0	17	30	0	49	3
5	75	58	20	75	55	5	0	17	31	19	23	6
6	84	54	14	111	43	1	0	16	74	11	28	6
7	75	60	28	77	109	0	0	24	5	0	30	2
8	86	59	24	53	69	0	0	8	1	20	31	7
9	85	83	23	68	116	0	0	10	6	12	25	5
10	90	63	35	99	15	13	0	10	0	6	42	8
11	78	57	25	82	16	10	0	14	0	0	38	8
12	90	66	20	82	29	4	0	13	0	0	32	4
1	84	59	31	117	23	0	0	13	0	7	19	4
2	102	62	5	120	5	5	0	12	0	0	24	5
3	89	63	37	124	16	6	0	26	0	1	18	9
合計	1008	749	278	1084	549	51	0	180	147	76	359	67
前年度	700	530	181	584	88	83	3	114	720	30	191	72

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成26年10月5日～11月28日	主任介護支援専門員研修（11日間）	宮城県庁、自治労会館
10月10日	地域包括ケアシステム構築研修会	宮城県庁
11月9日	介護支援専門員等研修会	気仙沼市役所
12月16日	高齢者虐待対策等講演会	気仙沼保健福祉事務所
平成27年1月13日	地域包括ケアシステム構築研修会	宮城県庁
1月26日	アルコール問題研修会	気仙沼保健福祉事務所
2月24日	認知症ケア向上研修会	気仙沼保健福祉事務所

【成果】 医療機関や介護支援専門員との顔の見える関係から、病院や介護支援専門員からの相談も増加しました。ケアマネジメント情報連絡会の開催により高齢者の虐待等の早期発見や予防に努められるよう連携体制の構築ができました。認知症サポーター養成講座の開催により打ち合わせ等前後の関わりから地域課題等も話し合える機会となりました。

【課題】 対応困難ケース（家族全員問題あり）等の対応が多くなっている現状があります。事業が月次計画どおりに執行できず年度末に集中したため、計画的な実施が課題です。

【今後の取組】 認知症の予防、啓発の継続実施とともに、地域包括ケアシステムに向けて医療・介護保険事業所・地域との連携強化に努めます。さらには、総合事業に向けた取り組みを具体的に進めるなど、各事業の計画執行に努めます。

【決算】 事業活動収入 25,888,402円 事業活動支出 23,906,986円
 その他の活動支出 1,278,910円
 当期資金収支差額 702,506円

気仙沼西地区高齢者相談室運営事業

【概要】 災害公営住宅や防災集団移転の整備に伴い、被災した高齢者等の移転先での生活再建や自立生活を支援するため、巡回訪問により安否確認や見守り・声掛け・相談等を行う「生活援助員（L S A）」4名を配置し、安心して自立した生活を送れるように支援しました。

【実績】

事業内容等	区 分	件数等	備 考
災害公営住宅 巡回訪問	住宅数（延べ）	0 カ所	訪問した災害公営住宅団地数
	戸数（延べ）	0 件	訪問した戸数
	（内不在、延べ）	0 件	訪問したが不在（状況確認）
防災集団移転先 巡回訪問	住宅団地数（延べ）	0 カ所	訪問した防災集団移転先数
	戸数（延べ）	0 件	訪問した戸数
	（内不在、延べ）	0 件	訪問したが不在（状況確認）
応急仮設住宅 巡回訪問	住宅団地数（延べ）	0 カ所	訪問した応急仮設住宅団地数
	戸数（延べ）	0 件	訪問した戸数
	（内不在、延べ）	0 件	訪問したが不在（状況確認）
相談件数	住宅関係	83 件	住宅等の問題
	健康相談	0 件	身体的健康の問題
	精神的問題	0 件	PTSDなど精神的問題
	介護関係	0 件	介護保険等相談
	家庭関係	6 件	DVなど問題
	交通等	0 件	通院や買い物等の問題
	経済関係	0 件	経済的な問題
	交流	0 件	孤立や交流等の問題
	その他	98 件	上記以外の問題など
	合計	187 件	
お茶会等イベント活動	交流イベント（他団体共催含む）	7 回/カ所	交流会等への支援活動
	参加者数（延べ）	129 人	
地域支援活動	自治会等	3 回/カ所	地域行事への参加協力
	参加者数（延べ）	109 人	
広報公聴活動		8 回	高齢者相談室や生活援助員の周知
各種連絡調整会議	行政・サボセン・ボラセン・友愛・NPO/NGO等	23 回	行政・サボセン・ボラセン・友愛・NPO/NGO等との情報交換
職員研修状況	内部研修	14 回	社協内部研修会実施
	外部研修	13 回	外部研修会への参加

【成果】 災害公営住宅入居高齢者への支援を円滑にするために、入居前から、サポートセンターや「絆」再生事業と連携を密にし、仮設住宅への訪問や災害公営住宅入居者説明会や交流会等に積極的に参加し、高齢者相談室及び生活援助員の周知と入居予定者や地元自治会長等との関係づくりに努めました。そのことが、入居後の円滑な訪問活動や相談活動に役立ちました。

また、災害公営住宅入居や今後の地域コミュニティ再構築を鑑み、住民同士の繋がり作りのための交流会開催や、南郷地区災害公営住宅周辺地域のコミュニティ作りには、生活支援相談員と一体的に事業推進にあたりました。

【課題】 災害公営住宅入居が開始して2ヶ月であるため、不慣れな環境の中で体調を崩す方、住宅に関する不安を訴えられる方等があり、健康相談会や生きがい支援の取組みがより必要と感じます。

【今後の取組】 担当地区では、災害公営住宅や防災集団移転先への入居が本格化します。これまで同様に、支援者と連携し、被災者への入居前からの繋がりづくりに心掛けます。

また、入居者への計画的な巡回訪問と丁寧な相談業務の実施はもとより、隣近所が支えあう関係づくりの構築に努めます。

【決算】 事業活動収入 4,837,768円

事業活動支出

4,837,742円

当期資金収支差額

26円

津谷在宅介護支援センター

【概要】本吉地域（津谷、馬籠、大谷地域）の高齢者の総合相談窓口として、訪問等による相談や実態調査を実施し、生活課題の早期把握や早期支援に努めました。

【実績】

1 実態把握業務

区分別調査件数	実態把握件数		
	年度初回	2回目以降	合計
訪問	109	0	109
来所	0	0	
合計	109	0	109
前年度	62	1	63

2 活動実績内訳

訪問目的内訳		訪問		来所のみ	
		実数	延数	実数	延数
に包 よ括 るの 訪依 問頼	在介実態把握	103	103	0	0
	在介経過観察・見守り	6	6	0	0
	サービス未利用者実態把握(要介護者)	0	0	0	0
	サービス未利用者実態把握(要支援者)	0	0	0	0
	二次予防事業実態把握	0	0	0	0
相 談 に よ る 訪 問	家族	0	0	0	0
	本人	0	0	0	0
	民生委員	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
合 計		109	109	0	0

支援内容内訳		訪問		来所のみ	
		実数	延数	実数	延数
介 護 保 険 適 用	介護保険認定申請支援	0	0	0	0
	居宅介護支援事業所紹介	0	0	0	0
	施設入所支援	0	0	0	0
	福祉用具購入	0	0	0	0
	住宅改修	0	0	0	0
地域包括支援センターへ		6	6	0	0
他制度利用支援		0	0	0	0
要経過観察		109	109	0	0
二次予防事業への参加意向の有無 訪問型		0	0	0	0
通所型		0	0	0	0
救急医療情報キット配付		4	4	0	0
合 計		119	119	0	0

【成果】計画的な実態把握や相談業務により、高齢者の生活課題の早期把握とともに必要な支援に向けた関係機関等との連携ができました。

【課題】従事職員の兼務により効果的な時間配分等での取り組みができませんでしたので、職員体制の整備が課題です。

【今後の取組】地域包括ケアシステムに向けて、地域との関わりをさらに強くしていく必要があります。地域の民生委員等との連携を大切にしながら取り組みを進めます。

【決算】事業活動収入 1,303,607円 事業活動支出 1,558,077円
 当期資金収支差額 -254,470円
 （前期末支払資金残高から充当）

生活支援型食事サービス	【概要】虚弱な高齢者の単身世帯等を対象に生活を支える「食」の確保を図りながら、安否確認と自立支援を行うとともに、利用者とその家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ることを目的として、毎週火・木・金曜日のうち週１～２回の利用ができるものとし、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、ボランティア等の協力を得て実施しました。 【実績】気仙沼地域 利用者： 67人 配食数：3159食 （前年度 利用者： 45人 配食数：1227食） 唐桑地域 利用者： 5人 配食数： 331食 （前年度 利用者： 10人 配食数： 267食） 本吉地域 利用者： 33人 配食数： 851食 （前年度 利用者： 26人 配食数： 710食） 合 計 利用者 105人 配食数 3159食 （前年度 利用者 77人 配食数 1853食） 【成果】地域の方、ボランティア、民生委員・児童委員が定期的に訪問することでの環境整備が図られました。また、緊急対応として、普段訪問する者がいない利用者について、配達の際に死亡しているのを発見しました。 【課題】新規利用者の増加に伴い、実施体制の見直しや協力者の継続的な確保が必要です。また、市内全域で同じサービス内容に統一することが課題となっています。 【今後の取組】当面は現行のとおり行いながら、実施体制の見直しを検討します。 【決算】事業活動収入 3,319,469 円 事業活動支出 3,317, 669 円 当期資金収支差額 1,800 円
生きがい活動支援通所事業（元気老人デイサービス事業）	【概要】おおむね65歳以上の高齢者を対象に、本吉老人福祉センター及び地域集会所等において、生きがい活動援助員による通所サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消や自立生活の助長及び要介護状態となることの予防を図りました。 【実績】 延利用回数 : 235回（前年度240回） 延利用者数 : 3, 195人（前年度3, 341人） 【成果】地域で行なう移動事業で利用者が増加傾向にあり、少しずつ老人クラブの枠を超えての利用者も増加しています。穏やかに和やかな雰囲気の中で地域の皆さんの茶の間のような雰囲気づくりにより、人の集まるところが苦手な方の参加も増え、多くの高齢者が安心して介護予防に取り組むことができる環境づくりに努めました。 【課題】一人でも多くの高齢者の社会参加や地域交流が可能となるよう、周知や活動メニューのさらなる工夫が課題となっています。 【今後の取組】老人クラブの枠を超えて利用が出来るよう、引き続き

	老人クラブへの呼びかけや地域単位での利用増につながるよう振興会への声かけなど事業周知を図ります。地域包括支援センターなど関係機関等とも連携し、多様な活動メニューによりひとりでも多く社会参加につながり、孤立感解消と介護予防の充実を図ります。 【決算】事業活動収入 7,515,150 円 事業活動支出 6,831,185 円 その他の活動支出 358,584 円 当期資金収支差額 325,381 円
家族介護者交流事業	【概要】高齢者を介護している家族に対して、日帰り旅行、施設見学等を活用した介護者相互の交流会を実施し、介護者を介護から一時的に開放することにより、参加者の心身のリフレッシュを図りました。 【実績】 6月21日 平泉温泉 参加者 22人 10月11日 加護坊温泉 さくらの湯 20人 【成果】介護者同士の交流により、参加された皆さんからも悩み事やストレスなどが解消することができましたなどの声も聞かれ、介護者のリフレッシュに繋がりました。 【課題】日帰りの事業のため、参加できる介護者や開催目的が限られています。 【今後の取組】市広報などを活用し幅広く周知され、介護者が参加しやすい環境作りの検討と内容の見直しにより事業の充実を図っていきます。 【決算】事業活動収入 1,303,607 円 事業活動支出 1,558,077 円 当期資金収支差額 -254,470 円 (前期末支払資金残高から充当)
家族介護教室事業	【概要】高齢者を介護している家族等に対し、家族介護教室を開催することにより要介護高齢者の状態の維持・改善を図るとともに、在宅生活の質の向上を図りました。 【実績】 9月19日 本吉公民館 参加者 15人 2月20日 本吉公民館 参加者 15人 【成果】今年度は福祉用具の上手な活用の仕方と認知症について学び、介護者にとっての介護技術・知識を学習する機会になり、介護者の負担軽減が図られました。 【課題】介護者ニーズが多種多様であるゆえ、学習したい内容も違うことなどから参加者数が横這い状況となっています。 【今後の取組】事業内容と開催時期などの検討により、介護者が参加しやすい環境になるよう見直し、参加者増を図ります。 【決算】事業活動収入 1,303,607 円 事業活動支出 1,558,077 円 当期資金収支差額 -254,470 円 (前期末支払資金残高から充当)

本吉地域介護予防普及啓発事業	【概要】介護予防事業を行うことにより要介護状態となることを防ぎ、介護予防に関する活動の普及啓発や地域における自発的な活動者の育成支援を行うとともに運動器の機能向上、口腔機能向上、栄養改善等のプログラムを取り入れた介護予防教室を開催し、継続して介護予防が図られるよう支援しました。 【実績】（１）一般高齢者介護予防教室 6月12日～9月25日（8回開催） 対象地域 津谷大沢地区 延べ参加者 114人 内容 体力測定、介護予防体操、講話（健康な体づくり、口腔ケア、栄養、健康） （２）一般高齢者フォロー教室 各地区1回ずつ 計6回開催 7月16日 馬籠 参加者 14人 10月17日 狼の巣・坊の倉 参加者 5名 11月 6日 津谷(館岡、上町、下町、街)、山田 参加者 11名 11月11日 川内 参加者 10名 11月26日 林の沢 参加者 6名 12月9日 高、前浜、日門、寺谷、上郷 参加者 15名 【成果】目的である参加者の介護予防と、健康を保つ為の知識向上に繋がりました。地域を合同で行って所もあり、普段なかなか会えない参加者同士の交流にも繋がりました。 【課題】フォロー教室については年数が経っている地区もあり、各地区の参加者数が減少傾向にあります。 【今後の取組】地域包括ケアの取り組みを始めている時期でもあり、地域内での声かけや参加しやすい環境作りに努めるとともに地域の協力者との連携により、幅広く介護予防事業の普及啓発を推進していきます。 【決算】事業活動収入 1,303,607 円 事業活動支出 1,558,077 円 当期資金収支差額 -254,470 円 (前期末支払資金残高から充当)
外出支援サービス事業	【概要】リフト付車両及びストレッチャー装備ワゴン車等により、利用者の居宅と在宅福祉サービスを提供する場所及び医療機関等との間の移動を支援しました。 【実績】 延利用者数 23人 延利用回数 47回(自宅から目的地までの片道を1回でカウント) 【成果】主に病院移送など利用者の移動支援の充実が図られました。 【課題】協力ボランティアについて、未だ不足の解消には至っておら

	ず、サービス提供体制のボランティア確保が課題となります。 【今後の取組】引き続きボランティアセンターと連携し、ボランティア確保と育成に努め、サービス提供体制の充実を図ります。 【決算】事業活動収入 55,760 円 事業活動支出 33,000 円 当期資金収支差額 22,760 円
大谷学童保育事業	【概要】放課後、留守家庭等により保育が困難と認められる小学校低学年の児童をお預かりし、保育する目的で学童保育事業を実施しました。26年度より学童専用施設である「大谷小学校区留守家庭児童センター」に移転して事業を実施しました。 【実績】対象児童：留守家庭の小学校1年生から3年生まで 登録児童数：25人 延開所日数：252日 延人数：4,637人 【成果】25年度まで小学校の空き教室等使用でしたが、26年度より大谷小学校隣接の新施設での保育が開始され、これまで同様に、児童一人ひとりの様子等の情報共有を図りながら、様々な体験活動を行うことができました。また、緊急時対策として様々な状況を想定した避難訓練も実施するなどリスク管理に取り組みました。 【課題】間借り施設では保護者との連絡手段に携帯電話を活用していましたが、新施設では固定電話に変更となり、職員不在時及び緊急時の連絡方法について、保護者から不安の声があるなど、平時や緊急時の迅速な連絡手段の確保が課題です。 【今後の取組】平成27年度からの法改正に伴い、学童対象が1年生から6年生までと拡大され、利用児童の増加が見込まれます。新基準に対応できる体制の強化と併せ、個別支援等の配慮が必要な児童をはじめ、個々の児童の見守りや必要な支援など、活動中の事故防止を徹底し、地域と連携しながら安心安全に過ごせる事業運営に努めます。 【決算】事業活動収入 3,264,300 円 事業活動支出 3,176,715 円 当期資金収支差額 87,585 円

10. 団体事務

事業名	内 容
気仙沼市民生委員児童委員協議会	【概要】市民児協事務局として、団体会務に係る外部機関との連絡調整から各地区民児協及び委員への情報提供等を行いました。 【実績】 役員会 2回（4月，9月，3月） 総会（6月）、 地区民児協会長会議 1回（1月） 【成果】上部団体や外部団体からの活動助成金を獲得し、地区民児協へ提供するなど積極的に民協活動を支援しました。また、市社協が配置している生活支援相談員を各地区民協定例会への参加を要請する等連携を図りました。 【今後の取組】引き続き団体会務が円滑に行えるよう連携を密にして取り組みます。
本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会	【概要】本吉ブロック民児協（構成：気仙沼市民児協・南三陸町民児協）の事務局として、団体会務に係る外部機関との連絡調整をしました。 【実績】理事会，評議員会等は未実施 【成果】宮城県民児協として、震災記録誌の発行に向けた取り組みが進められた中において、南三陸町民児協との近況の情報共有が図られました。 【今後の取組】南三陸町民児協との連携を密にして取り組みます。
気仙沼市共同募金委員会	【概要】共同募金委員会事務局として、住民への募金に関する理解や募金運動に関する支援、団体会務に係る外部機関との連絡調整等を行いました。 【実績】 理事会等 1回（4月） 評議員会 1回（4月） 配分調査委員会 2回（8月，12月） 【成果】震災後活動の困難な地区もありますが、地区奉仕員を中心に募金活動の協力をいただくことができました。このほか、宮城県県共募助成事業の幅広い周知により、市内各地で助成金を活用した住民支え合い活動が展開されました。 【今後の取組】理事及び評議員と地区奉仕員を中心に、広く共同募金運動へ理解が得られるよう団体会務を支援します。
気仙沼市ボランティア連絡会	【概要】市内のボランティア団体をもって組織し、各団体の育成と連携・協力を図り、ボランティア活動の推進に寄与することを目的としており、現在は旧気仙沼地区と唐桑地区の計11地区ボランティアクラブから構成されています。 【実績】 総会、監査会、役員会（年5回程度）、他団体会議への出席、他団体活動への参加協力、研修会、等

	【成果】他地区と情報を共有することで自地区での活動の幅が広がり地域住民に対する活動の質が向上していると思われます。他市町との交流や先進的な活動を行っている外部講師の方の講演等から、地域活動に役立つ成果を得ることができたようでした。 【課題】会員の高齢化と後継者不足により、リーダーの役割を果たしてきた方々が役員を辞めていくことに伴い、活動が鈍化し、組織が形骸化してくるおそれがあります。 【今後の取組】当面は現行のとおりですが、役員改選後の体制によっては、新しい組織運営のあり方の検討が必要となる可能性があります。
気仙沼市老人クラブ連合会	【概要】関係機関と連携しながら、市老人クラブ連合会事務の適正な運営と老人クラブ活動の活性化を図りました。 【実績】会議等（総会 1 回、定例理事会 4 回、監査会 1 回、専門部会 2 回、市高齢者事業運営委員会 2 回、事務担当者会議 1 回） 研修会 5 回 関係大会 3 回 【成果】多くの研修会や大会へ参加し、事業運営を行いました。各関係機関の協力により事業の効率と活性化が図られました。 【課題】会員の高齢化や後継者不足により、リーダーの役割を果たしてきた方々が辞めていくため、後継者育成が課題です。 【今後の取組】新しい老人クラブ世代の多種多様な趣味に対応できるように、事業企画や目的を再確認しながら後継者育成を継続できるように支援してきます。
本吉町老人クラブ連合会	【概要】関係機関と連携の上自主的運営を推進し、全国三大運動（心と体の健康づくり、友愛活動、社会奉仕活動）の積極的な推進と活性化を図りました。 【実績】会議等（総会 1 回、監査会 1 回、役員会 1 回、会長会議 1 回、正副会長会議 1 回、女性部総会 1 回、女性部会 1 回）、室内体育大会、グラウンドゴルフ大会等の健康づくり活動 【成果】現状に合わせ一部事業の廃止や種目の見直しを図り、諸団体や関係機関の協力により事業の効率と活性化が図られました。 【課題】会員全体の高齢化や、新しい老人クラブ世代の多種多様な趣味に対応できる事業への見直しが必要となっております。また、当事者組織としての自主的な運営ができるような方向付けを検討することが必要となっております。 【今後の取組】引き続き事業企画や目的を再確認しながら現状に即した企画や運営を検討できるよう支援し、今後の連合会活動の見直しを図ります。

本吉町遺族会	【概要】遺族会として友愛の精神で互いに助け合い、福祉の増進につとめ戦没者諸英霊の祭祀を厚くし、関係機関と連携強調し、後世にわたって平和の尊さを理解してもらえる意識しながら事業を推進しました。 【実績】会議等（総会 2 回、監査会 2 回、役員会 3 回） 気仙沼市遺族会との合併に向けた話し合い 2 回 気仙沼市戦没者追悼式参列 本吉地域戦没者追悼式開催 靖国神社団体参拝開催 【成果】課題となっていた遺族会の合併は、気仙沼市遺族会との話し合いを行い、平成 27 年度に合併することで確約されました。本吉町遺族会は 3 月に総会を開催し、合併に関する会員の総意を得て平成 27 年度に合併することを確認しました。また、合併により平成 27 年度から本吉地区遺族会へ名称変更することとなりました。 【課題】会員の高齢化及び戦後の年数経過による会員減少について、会の存続に向けた対応策の検討が必要となっています。 【今後の取組】気仙沼市遺族会と連携した事業運営に努め、会の安定運営を図ります。
----------------------	---